

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞

第37号

2009年10月23日発行



http://www.yokosan.info/index.htm e-mail:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp docomo au/ワトパン

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



土建新会館完成！

かねてから五郎橋で建設が進んでいた土建さんの新会館が完成し、10月4日、100人の組合員と90余人の来賓が集まり、盛大に落成式が行われ、吉田新市長も来賓挨拶をされました(写真は、主催者挨拶する仲野和則委員長)。

土建の支部(現在は横須賀三浦支部)は、この15年間で現勢を倍加して佐原の事務所が手狭になったため、交通の便がよく、駐車場の広いこの地に、3階建ての新会館を作り、移転したのです。落成式では、野比・公郷・舟倉時代の苦労も語られ、35年間で128名から5500名を展望するに至った拡大の成果に、参加者一同、感動をともしました。横三労連傘下の最大単組として、今後のさらなる発展が期待されます。



空母一周年で集会！

原子力空母ジョージ・ワシントンが横須賀に配備されて9/25で1年となる中、2つの全国集会在ヴェルニー公園で開催され、9/13の安保破棄主催の集会には1000人、9/26の平和運動センター主催の集会には3000人が参加しました。また、民主党のよこくめ代議士が、9/25の原子力空母の学習会(非核市民宣言運動ヨコスカ主催)やピースフェスティバル(10/18)にも顔を出している事が話題を呼んでいます。

労働センターまで統廃合？！

9月の県議会で、出先機関の統廃合が決まりました。一つは相模原市の指定都市移行に伴うものですが、もう一つは労働センターの合理化です。7つあった出先機関を4つに統廃合するもので、横須賀三浦商工センターも対象となり、横浜に統合されてしまいます。

横三労連では急遽、10/8に議長・事務局長・山本裕幹事の3人で申し入れを行い、県側は商工労働部長と労働課長が対応しました。部長は、合理化は人材活用のためであり、週何回かの横須賀への出張と、街頭相談会で充分と言います。横三労連は、人員削減が目的である事を明らかにし、保健所の統廃合が、新型インフルエンザ対策を困難にした事をあげながら反論しました。部長は、こちらの申し入れの主旨を理解し、努力すると約束しました。

3つの市立病院労組が懇談会！

前号でお知らせしたように、困難に直面している三浦市職労病院支部が、横須賀市職労市民病院支部とうわまち病院労組に声をかけ、10/16にうわまち病院労組事務所で懇談会が実現しました。横須賀市民病院では、行政職員として残る道も示される中、約半数の職員が病院に残りますが、組合の役員2人を面接で落とすと聞いて、参加者一同唖然としました。それにしても、2つの市職労書記長が向かいあい、さらに横須賀市職労森田書記長と横三労連事務局長と隣りあうとは画期的です。